

2019年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 3 回	参加者数	114 名	
テーマ	河口のいきもの			
実施日	2019年6月16日	天候	くもり	
場所	高松海岸			
コース	開会時刻（10：00） アシ原周辺→チゴガニ、ハクセンシオマネキ生息場所→ヤマトオサガニ生息場所→干潟 解散時刻（12：00）			
指導内容など アシ原周辺でアシハラガニ捕り チゴガニのウェービング観察 絶滅危惧種ハクセンシオマネキの紹介 ヤマトオサガニが水から目を出す様子の観察 干潟を掘って貝探し イソシジミやアサリが砂に潜る様子の観察 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを踏んでケガをしそうな人がいました。 ・ヨシが目に入った人がいました。 ・裸足の人がいたため、危険がないように注意を徹底したい。 ・干潟の野鳥は大人数での観察は不向きだとわかりました。 ・未来館から借用した備品の貸し出しの際に、数量確認を忘れていました。 ・人数が多かったので拡声器があると良かったです。 				
参加者の感想・声など <ul style="list-style-type: none"> ・チゴガニやヤマトオサガニのが動きが面白かった。 ・カニのダンスが身動きせずにいると見られることを知り、すごいなと思いました。貝の潜るところを見るときか、カニの出るところとか、おもしろかったです。 ・たくさんの生き物に会えて楽しかったです。カニのダンスは癒されますね。 ・子どもにいろんな生き物を見せたかったのでとても良かったです。触れるようになって良かったです。 ・人数何名とすれば更に良いと思います。 ・思った以上にカニ、貝がたくさん捕れて面白かった。 				

観察記録 (観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類)	
植物	ハマゴウ、ウシオハナツメクサ、アメリカネナシカズラ、ハママツナ
昆虫	トビムシ、ハラヒシバッタ、エンマコオロギ (幼虫)、センチニクバエ、アジアイトトンボ
魚	ボラ、ヒモハゼ
野鳥	カワウ、ハシボソガラス、カルガモ、コサギ、アオサギ、ダイサギ、ウミネコ、ツバメ、ドバト、コチドリ
貝類	アサリ、オチバガイ、シオフキガイ、イソジジミ、ヤマトシジミ、ハマグリ、アラムシロガイ、キセワタガイ、フトヘナタリ、カワザンショウガイ、ソトオリガイ、ホトトギスガイ、マテガイ
その他	アシハラガニ、ヒメアシハラガニ、カクベンケイガニ、クロベンケイガニ、ベンケイガニ、クシテガニ、コメツキガニ、チゴガニ、ハクセンシオマネキ、タカノケフサイソガニ、マメコブシガニ、オサガニ、ヤマトオサガニ、ユビナガホンヤドカリ、スナガニ類、ヒラムシ sp、ヨコエビ sp、ミズクラゲ、ゴカイ、アナジャコ

アシハラガニ捕り



チゴガニの観察



干潟で貝探し

